

- ・コラム「自然なこころの発露」
- ・お知らせ（青年長期ボランティア活動終了、環境ボランティア交流会）
- ・ボランティア雑感（西村洋平）
- ・太陽と緑の会 事業の概要
- ・ご支援下さった皆様 / 編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

2009年2月 130号

－「自然なこころの発露」－

杉浦 良

太陽と緑の会ホームページ製作の裏方役で頑張ってくれている柴野さんに、ホームページのリニューアルをお願いしました。ホーム画面に太陽と緑の会創立者近藤文雄の碑の写真を載せていましたが、碑文そのものに替えました。

碑文の「自然なこころの発露」は、創立者近藤文雄が逝去する前、太陽と緑の会を作ったスピリットを分かりやすい言葉で言い表すと、どんな言葉になるかという問いに「そうだなあ・・・、自然なこころの発露とでもいう意味の短い言葉があれば・・・」と語った後、まるで命のロウソクが燃え尽きるように旅立ちました。その短い言葉を私は見つけられずに、そのままを創立者の言葉として残すことにしました。書は京都在住の書道家、磯田充子さんにお願いしました。右手で精魂を傾けて書かれましたが納得いかず、最後は左手で描くことで、この作品を仕上げてくださいました。言葉の意味を、書に表すことの難しさは、私ではうかがい知れませんが、何度もこの「自然なこころの発露」を見ているうちに、これはこのような書体で書かれるべくして、近藤文雄の口から語られたのでは・・・と思えるから不思議です。

「上手なのか下手なのか分らんような字だが、何かホワホワっと心に残る・・・」などと言われた方もいますが、私は的確にこの書の意味をつかんでおられるのだと思いました。このように言葉と書が出会うことができ、有難いことに太陽と緑の会のホームページも飾



書：磯田 充子

ることができました。ところで磯田充子さんのご主人は、今は亡き福祉ドキュメンタリー映画の巨匠と言われた柳澤寿男氏です。学生時代、私たちにお付き合いいただき、福祉や映画や人生すべてにわたって影響を受けました。

「お金にならないが、やらなければならないことがこの世にいろいろある・・・。貧乏してもやらなければならないことが、この世にある・・・。君たちは出世して、私をマネーヘルプしてくれば一番有難い・・・。」

ネルドリップで京都イノダのコーヒーを入れながら、若造相手に人生を語る映画監督の存在が光り輝いていた頃、気がつけば、随分大切なものを頂いていたこととなります。ひょっとして、これが自然なところの発露の種かもしれません。



花壇の手入れ
ボランティア
小林さん(右)

お知らせ

青年長期ボランティア活動終了

2月23日、平成20年度青年長期ボランティアの西村君が10ヶ月間に渡る活動を終了しました。高校、大学と6年間社会福祉を学び、大学を休学して活動に参加した西村君は、最初、自分が学んで来たことと現場の最前線とのギャップにとまどいもあったようですが、次第に持ち味を発揮してくれるようになりました。衣料品についての豊富な知識を生かし、様々なハンディを持ったメンバーと作業していく姿が印象的でした。メンバーの中に確かな足跡を残してくれたと思います。

2月21日夜、月の宮共同生活棟にて送別会を開催し、メンバー、スタッフ、ボランティア計24名が参加しました。メニューは手作りの刺身と沖すきで、地元中州市場で食材を仕入れ、安くておいしい料理を楽しむことができました。

西村君は東京での総括研修を終えた後、郷里の山口で大学生活に戻り、就職活動を始めることになります。今後の活躍を願っています。

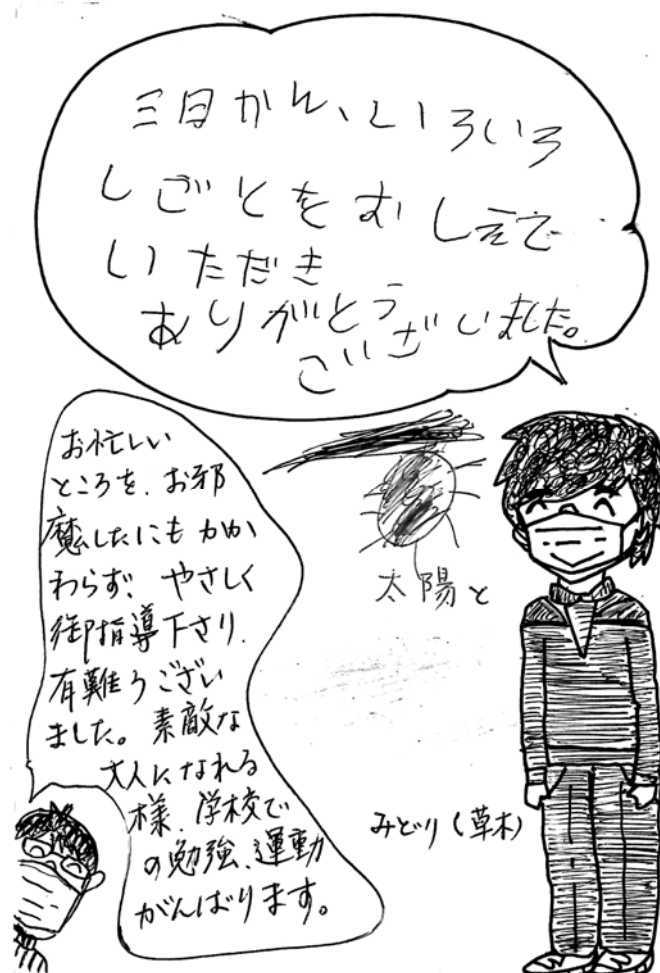


環境ボランティア交流会

2月8日午前10時半～午後4時、第5回とくしま環境ボランティア交流会が小松島市総合福祉センターにて開催され、小松島横須海岸の清掃、地元の民間企業、高校等5団体の活動報告、及び交流会を行いました。当会からは代表杉浦(実行委員)の他、スタッフの宮浦、メンバーの宇津君、田村正子さんが参加しました。

職場体験実習

2月10日～13日 国府養護学校高等部1年生の久保君、柴田君(13日のみ)が、地域活動支援センター太陽と緑の会リサイクル作業所にて職場体験実習に参加し、古紙の積み込み、値札付けなどの作業に取り組んでくれました。



講演・会議・見学

12月19日 作業所指導員研修会(阿南保健所主催)にて、当会代表杉浦が「障害特性を活かす支援のコツ」との演題で講演。県南の作業所、支援センター、保健所等の職員25名が参加。

1月17日 地域活動支援センターやまもも 建物改築落成式 杉浦出席 当会から同センターに5000円を寄付させて頂きました。

1月18日 那賀町婦人会から9名の方が当会を見学に来られました。昨年11月の徳島県婦人団体連合会活動発表大会での講演を聴いて、一度見学に来たいという話になったとのこと。

2月14日 徳島県障害者地域共同作業所連絡協議会の研修会を徳島市内(ホテル千秋閣)にて開催。徳島県内の障害者地域共同作業所等の職員らが参加。社会福祉法人全日本手をつなぐ育成会理事の白杉滋朗氏をお招きし「今後の障害者支援について」と題し、お話し頂きました。当会からは事務局として代表杉浦、専任職員宮浦が参加しました。

2月19日 とくしま市民環境懇談会が徳島市役所にて開催。環境関連の市民団体関係者や行政担当者他が出席しました。当会からは代表杉浦が出席しました。

2月22日 ボランティアグループ那賀川のぎく総会にて、当会代表杉浦が環境問題をテーマに講演。

ボランティア雑感

青年長期ボランティアの西村と申します。私の活動期間も残り僅かになり、機関紙である、「かわら版」に寄稿させてもらえる、最後の機会となりました。なので、できるだけ正直に、ボランティアをする私が、ボランティアについて、考えていたことを紹介させてもらえればと思います。

自己紹介。

「私は学生をしています」と言うと、それだけで、彼らは判ってくれます。「私はボランティアをしています」と言うと、彼らは問うてきます。

「What, Who, Where, When, Why, How?」

私は、それが億劫で、年末年始はできるだけ外出しないようにしていました。それでも、2度、問われました。「5W1H?」「5W1H?」

ボランティアを説明することは、それほど難しいことではないです。Google の検索窓に[ボランティア]と打ち込む。検索ボタン。それだけです。難しいのは、ボランティアをしている私について、話しをすること。ボランティアをしている僕について、私自身、わかっていないことが、たくさんあります。

しかし、一般論ではどこへも行けません。僕は今、とても個人的な話をしています。

「僕は山が好きです」

なので、石鎚山にも登りたかったです(剣山は登った)。残念。

そこに山があるから、という名文は意識です。原文は、” Because it is there.” で、直訳すると、そこにそれがあから。

「僕はおかねが好きです」

現実的になりたいと強く思います。なので、ボランティアをしている僕が馬鹿らしくなることがあります。ある日、「考えたら負けだよ」と言われたことがあります。

それは、客観的事実であるように思えたのですが、どうしようもないことに、僕は、考えたら負けだということを考えてしまう、そう

いうタイプの人間でした。このパラドックス、どう解くか?

解けなかったので、シンプルに利益を追求することにしました。行動規範。利益の最大化。

「僕は服が好きです」

なので、ある程度、みたてができます。なので、ここには、高度資本主義社会という服が、似合わないことがわかります。着たい服と似合う服は違う。それで、どれだけの間違いが起こされたか。非常に、完全に、かっこわるい。服が好きだから、それはわかる。

しかし、適当な服が必要です。裸だと、風邪をひいてしまう。なので、よく考える。出来ること、出来ないこと(僕はスタッフではない)。とりあえず、高度資本主義社会という服を、無理やり、着せてみました。試着。作業の合理化、利益の最大化。悪くはない。一定の成果はありました。それだけ。おわり。

そして、僕は風邪をひいた。僕が裸になっていた。ハクション!

自己紹介。

私「私はボランティアをしています」
彼ら「5W1H?」

結局「5W1H?」は、彼らの課題であるということ。私の話せる、数少ない、正直な話です。少なくとも私の問題ではない。彼らがボランティアを試してみればいい。そう思います。そして、私の課題。私の活動は、風邪をひいただけではない。ボランティアと何か?おそらく” Because it is there.” の” it.” あたりに真実が含まれていると思っています。幸福?

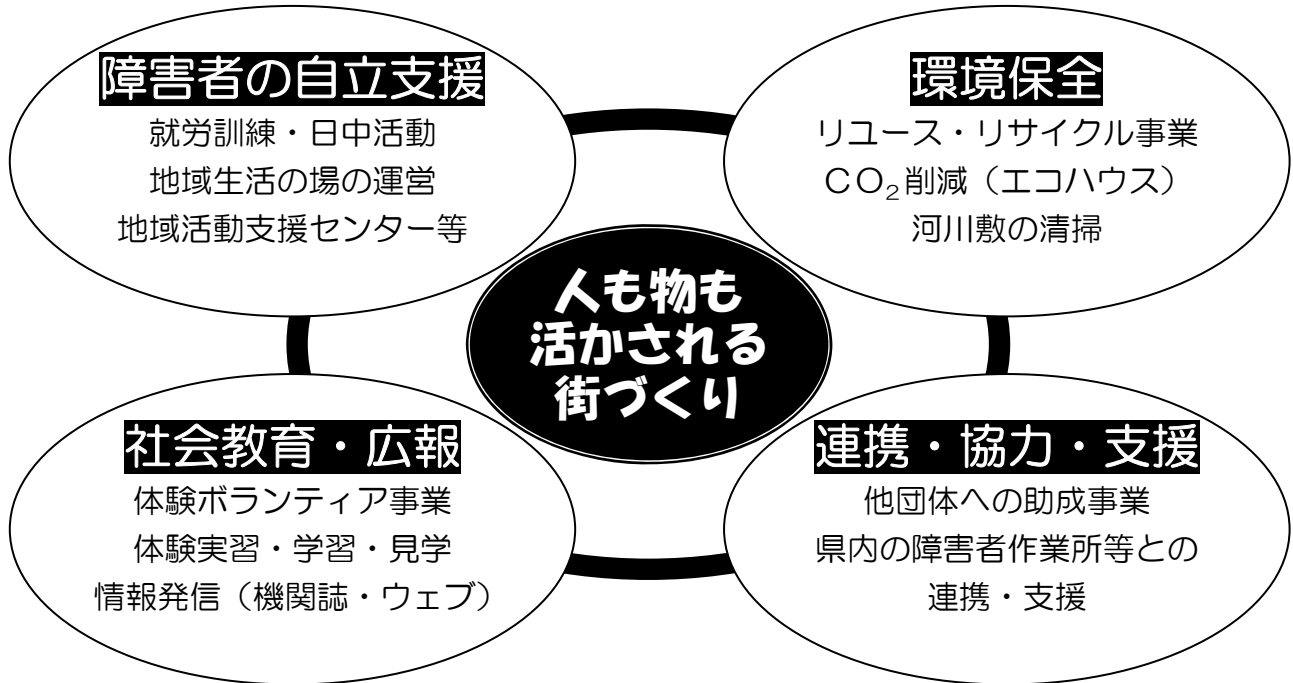
未明の中継でも、オバマ大統領就任式を視聴してしまう。私はそういうタイプの人間です。” Yes we can.” 「私たちはできるのです」

以上が、超私的ボランティア観の紹介です

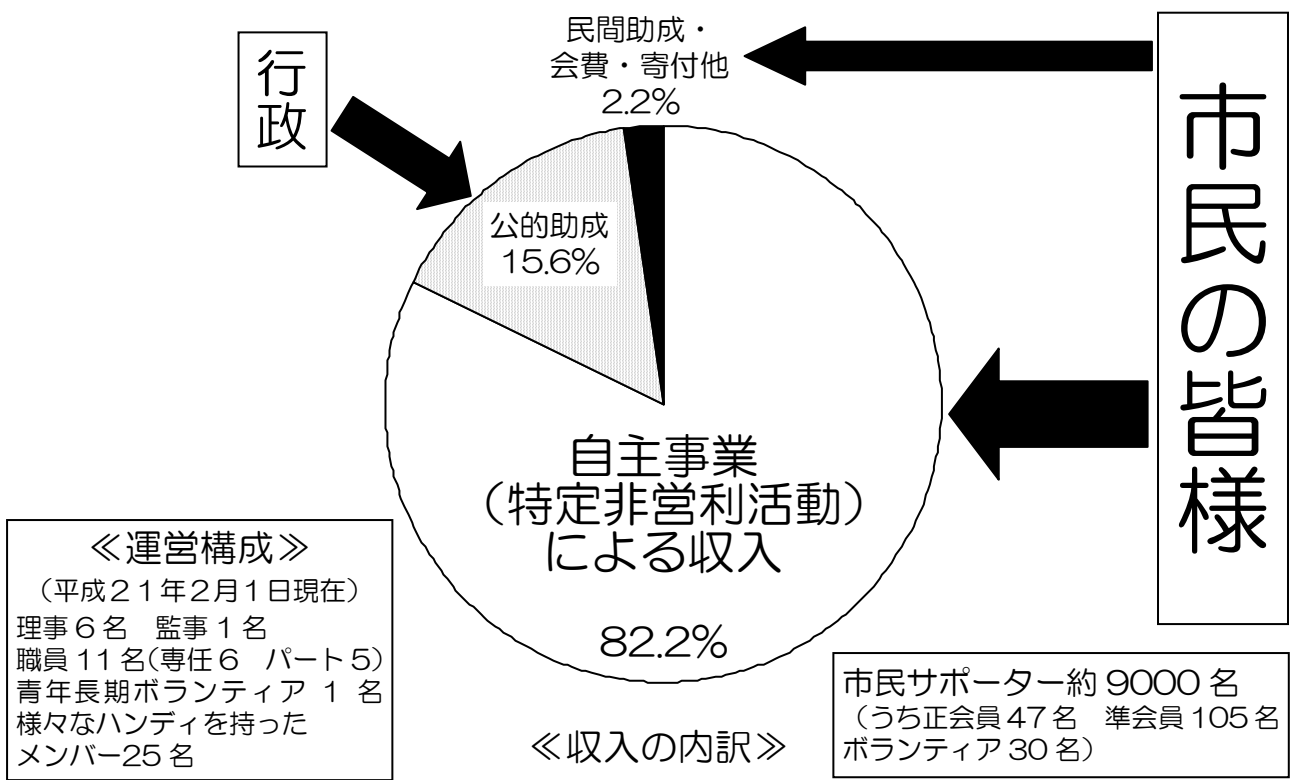
(青年長期ボランティア 西村洋平)

太陽と緑の会 事業の特徴

①異分野を結びつけた社会貢献事業を行っています



②運営費の8割は市民の皆様を支えられています



社会貢献事業

障害者就労訓練の場の運営

地域活動支援センター、障害者地域共同作業所の運営

障害者の方の就労訓練・日中活動の場。25名の障害者の方（3種障害 20才～59才）を受入。

障害者地域生活の場の運営

障害者地域共同生活棟の運営（補助金ゼロ事業）

障害者の方の地域生活の場、生活訓練の場。4名の障害者の方を（3種障害 24才～59才）を受入。

環境保全事業

- ① 不用品・資源ゴミのリユース・リサイクル(年間7000件、1000トン)
- ② 自転車のリユース・リサイクル（年間2000台）
- ③ 廃食油のリサイクル
累計5000リットルのテンブラ廃油を7.5トンの粉石けんとしてリサイクル
累計約906リットルのテンブラ廃油をバイオディーゼル燃料としてリサイクル
- ④ 農薬・化学肥料を一切使わない農業の実践（1000坪の畑を開墾）
- ⑤ 自然ふ化・平飼いによる養鶏の実践（チャボ、烏骨鶏等100羽を飼育）
- ⑥ 自然循環システムによる生活の実践（生ゴミ、ふん尿も活かす）
- ⑦ 太陽光・太陽熱利用、自然換気システムによるCO₂削減の実践
事務局建物：16.02kwの太陽光発電システムで使用電力を自給
生活棟：6.48kwの太陽光発電システムで使用電力を自給
太陽熱温水器は事務局、生活棟、月の宮作業所の3か所で導入
- ⑧ 河川敷のクリーンアップ（定期清掃：週3日、一斉清掃：ゴミゼロクリーンアップ・5月）

社会教育・広報事業

- ① 青年長期ボランティアの受入（昭和63年度より毎年。計21人）
- ② 体験ボランティア事業の開催（平成2年度より毎年。計250人参加）
- ③ 県内小中高生ボランティア、学生・社会人等ボランティアの受入
- ④ 見学・体験実習・体験学習の受入(年間20件以上)
- ⑤ 機関誌（年6回・各1800部）及びウェブサイトによる情報発信
- ⑥ 研修会・イベントの開催及び講演活動(年間10件以上)

連携・協力及び支援事業

- ① 助成事業（福祉事業団として15年間で計871万円を助成）
- ② カンパ、物資の無償提供などの支援活動
- ③ 徳島県内外の障害者地域共同作業所等との連携・協力及び支援
- ④ 国内外の民間非営利団体（NPO）との連携・協力及び支援
- ⑤ 国際協力及び交流

リサイクル活動のご案内

太陽と緑の会では、市民の皆様から無償でご提供頂いた品物を、リユース・リサイクルし、社会貢献事業につなげています。ご家庭でご不要となった品物がございましたら、ご連絡下さい。

①ご自宅まで品物を頂きにお伺いする場合

まずお電話をお願い致します。お名前、ご住所、ご連絡先、品物をお聞きしてカードに登録し、一両日中に、お伺いする日時を当会からご連絡させて頂きます。お伺いした際、品物はお間違えのないよう、よくご確認の上、お出し下さい。お伺い可能な時間は9時半～17時です。

お伺い可能な地域

徳島市、鳴門市、北島町、松茂町、藍住町、石井町、吉野川市東部（鴨島、川島）、阿波市東部（吉野、土成）、上板町、板野町、小松島市、阿南市北部

②品物を当会までお持ち込み頂く場合

活動時間内であればいつでも可能です。品物はお間違えのないよう、よくご確認の上、お越し下さい。なお業者の方による大量のお持ち込み、及び活動時間外のお持ち込みはご遠慮下さい。

お持ち込み先：太陽と緑の会リサイクル作業所（次のページに地図があります）

お引き取りできるもの

衣料品（全シーズン可）・着物、花器、食器（単品も可）、台所用品、文具、額絵、雑貨、寝具（しみ・破れのないもの）、本（文庫、新書、マンガ、一般書籍）、CD・レコード・カセット、おもちゃ、靴・かばん、楽器、キャンプ用品

電化製品（家電リサイクル法対象品はお引取りできない場合があります）、オーディオ、自転車

パソコン本体（ウィンドウズのデスクトップはXP以降）・周辺機器、電動工具、工具

暖房器具（石油ストーブ・ファンヒーター、電気ストーブ他）、ガス器具

資源ごみ（段ボール、新聞、雑誌、鉄、缶、一升びん、ビールびん、テンプラ廃油）（事業系は除く）

二段ベッド・パイプベッド、折りたたみベッド、タンス、食器棚、本棚、テーブル、衣装ケース、その他家具類（家具類は現品を見ての判断となります）

リユース品のご利用について

- ・ リユース品の販売は「太陽と緑の会リサイクル作業所」で行っています。
- ・ 衣料品、食器、寝具、電化製品、家具など、生活に必要なもの、掘り出し物がいろいろあります。
- ・ 電化製品は1か月間の保証書をおつけてしています（現状渡し品を除く）。
- ・ ごみ袋1袋詰め放題セール（不定期）、本の割引セール（毎月第2・第4日曜日）なども行っています。
- ・ 商品の配達も行っています（徳島市内1000円 その他2000円～ ピアノなどの大型商品は別料金となります）

リユース自転車バザー

日時：毎月第4日曜日 11時～18時
場所：太陽と緑の会リサイクル作業所

引き取り手がなく廃棄処分となった放置自転車（徳島市より提供）及び市民の方々から頂いた自転車を修理再生し、安価で提供しています。自転車屋さんと同水準の整備を行っていますので、安心して乗って頂けます。

事務局 リサイクル作業所

活動時間内であればいつでも来所可能です。

車： 中鮎喰橋西詰の信号から50mの土手下。赤の看板あり。駐車場13台。
バス：「岩延」（覚円方面バス）から徒歩3分
「上鮎喰」から徒歩20分
JR： 鮎喰（あくい）駅から徒歩15分

月の宮作業所 月の宮共同生活棟

来所ご希望の方は事前に事務局までご連絡下さい。
バス：「入田（にゅうた）」（天の原、神山方面バス）から徒歩15分。入口に看板あり。

活動時間

9時～18時

定休日

毎週水曜日

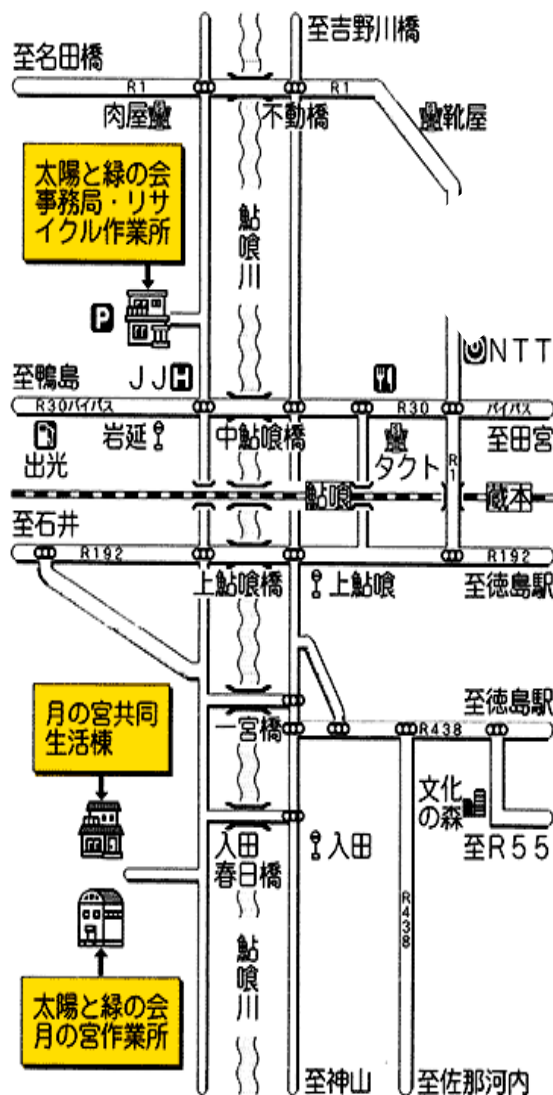
お問い合わせ

電話・FAX 088-642-1054

（リサイクル作業所）

電話・FAX 088-643-1054

（事務局）



当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2008年12月1日～2009年1月31日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付下さった皆様方

橋本、匿名、匿名、中田 徳島ビルメンテナンス協会

(以下郵便振替口座にご入金下さった方) 山田、大谷、福山、木村、白根、竹條、黒須、滝倉、星名、安部、遠畑、井口、片桐、綾部、桐生、永口、足立、堺、姫野、阪野、森、伊地知、太田、豊井、佐藤、内原、萩野、野田、榎本、太田

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた方々

○徳島市○相原、蔵本、家段、中山、川上、岸本、竹原、徳本、益田、山本、柴田、岡部、藤本、金野、先川、野尻、豊田、安岡、山下、野鳥の会、宮本、阿部、辰巳、林、カンガルー歯科、鈴江、森、住友、団、川原、川下、森梅、池住、市川、神原、森、桑内、井上、松本、長谷部、中安、石丸、渡辺、前田酒店、林別館、玉井、岸野、犬伏、柿本、猪俣、福見、県設備業協会、川野、三木、熊本、前田、武間、坂東、林、八村、吉田、吉野、藤田、日下、東條、米田、平野、敷地電気、岸登、木村、黒川、高田、徳島大学蔵本キャンパス、田中、高橋、大下、県民活動支援室、後藤、新居、矢野、藤井、内村、豊田内科、田村、吉岡、村川、北島、元木、井上、八木、増田、奥田、福田、美馬、山本、城内、蟻馬、杉本、山田、賀川、内藤、真鍋、鈴江、阿部、横山、堀井、佐々木、出口、近藤、山内、長谷税理士事務所、ワークスタッフ、山西、大和、福田、渡辺、寿賀、熊本、松本、谷川、赤松、河口、坂東、藪原、楠本、川瀬、東條、湯浅、富岡医院、せべや、堀内、前川、平井、松浦、浅野、後藤、桑原、丸谷、四宮、富永、林、山田、水原、田中、福島、ワタベリサイクル、北川、森、堤、松下、名本、井口、中安、溝内、辰巳、宮本、長谷部、三原、平山、中尾、福内、七條、村田、割石、岡本、松本、ケミカル建設、武沢、田中、武内、益岡、斉藤、西条産婦人科、西村、吉岡、田中、ユニオン測量、佐藤、岩田、蔵本、笠谷、篠原、加藤、岡久、糸林、長谷部、久住、吉田、近藤、大滝、鶴島、原田、増金、勝亀、坂東、後藤田、○小松島市○富田、村田、斎藤、新居、中尾、田上、守田○藍住町○大西、萩原、阿部、川野、藤井、岩本、ちびっこランド藍住園、瀬部、藤川、○北島町○ポーラミサキ、滝、原、結城○石井町○後藤、露口、遠藤、ケアハウスまこと、橋本、榎本、吉城、日野、篠原、綿谷、山口、三木、田幡、田村、山口○上板町○梶本、森○鳴門市○久龍、浜田、山田、竹内、米田、○阿波市○上村○阿南市○藤川○吉野川市○日出○松茂町○片岡

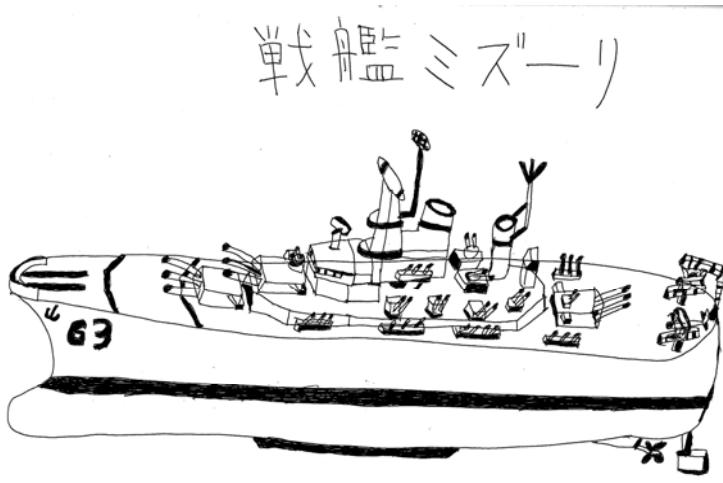
品物を持って来て下さった方々

○徳島市○坂本、山本、団、藤岡、西岡、林、田村、篠原、加納、美馬、八木、平田、渡辺、芦田、坂口、照本、和泉本、井上、新開、武市、後藤、ダック引越しセンター、片山、楠本、亀井、田岡、竹内、木下、津田、松岡、坂東、林、小笠原、新納、近藤、山口、渡辺、岡部、三好、蔵本、大橋、内藤、和田、東山、増原、杉本、立道、宮本、佐藤、東口、松本、井出、大泉、川野、原、片岡、前田、西野、富永、米澤、田中、中村、島尾、坂野、陽地、水口、多智花、小野、山田、杉井、湯浅、中西、萬山、清水、内藤、濱田、榊、上窪、黒川、松浦、荒木、北、溝口、高橋、三枝、三宅、泉田、森本、亀島、佐野、榎本、森積、久米川、原田、庄野、安岡、猪児、佐古小PTA、岩本、北浦、岩森、露口、熊本、藤本、河崎、岩脇、志摩、多田、柴山、川辺、吉田、福永、通、徳島教会、井野、鎌田、部家、谷、河原、三原、大栗、浅見、児玉、木田、津川、白木、

小室、楠川、岸本、藤田、井藤、小西、木田、玉置、大代、生田、玉野、中村、武田、竹上、吉岡、J Sセンター、中川、鈴江、原田、生駒、宇山、南、福井、稲井、(有)スズエ商事、上野、小森、大井、岡島、堀井、黒川、黒嶋、脇村、福山、樋田、小林、河野、高橋、森下、井上、灰田、森近、小川、原、大野、坂本、織原、近藤、小路、村瀬、山上、賀川、堀金、濱田、久次米、森北、宇野、富永、宇山、斎藤、鈴江、村田、森下、溝内、団、新居、細束、斉藤、堤、中野、名川、荒井、中川、杉本、北村、吉崎、福原、知野、富永、西岡、昼間、井内、幸田、土佐、岩井、金村、宮本、菊池、芳川、三木、久米、松村、荒木、岸田、井上、久保、高木、三浦、桑原、大林、生駒、鈴江、三井、藤本、岡田、原塚、平田、高橋、伊原、西野、リュウケ、中川、田山、ナガサキヤ、笹原、中河、田所、岩瀬、松浦、内藤、濱田、白川、久米川、大山、北橋、池田、三好、佐藤、西本、手塚、楠川、谷本、青山、中村、姫野、吉田、大栗、杉本、月岡、矢川、小川、今津、五島、岸、松尾、羽紫、高松、黒岩、山本、近藤、馬場、中原、山田、笹田、木野内、中山、大西、四宮、八木、折野、武岡、和田、太田、馬瀬、後藤、法士、上杉、蔭山、岡部、山内、高木、秋野、森、丸山、島本、大手、○吉野川市○板野、中西、青木、大倉、森久、吉田、森本、加本、阿部、沖津、松岡、三瀬、松下、岡田、井内、前野、麻植○石井町○酒井、立川、小川、吉岡、大倉、岡、かさい歯科医院、船井、松田、久米、鈴江、森、中野、生田、勝浦、井内、岡本、田中、片岡、大草、○藍住町○阿部、富田、森、大野、三好、大寺、浜、新居、佐藤、大塚、泰、渡辺、河村、武沢、萬藤、小笠原、岡久、小西、熊本、橋本、上崎○阿波市○岩野、大牛、中西、北尾、森本、岡田、渡辺○上板町○金岡、辻本、鈴田、藤本、快楽、原、稲井○板野町○近藤、中原、井上、稲垣、五條、森本○松茂町○中西、岡○鳴門市○藤本、櫻、浜田、林、渡辺、濱堀、玉木、笠井、橋本、浦川、大江、森脇、藤澤、芝本、山田、安、土井、檜原○北島町○大久保、浜村、橋田、石井、岩木、東、濱口、笠井、北峰、福原、江富、小坂、○阿南市○藤井、布川、佐野、多田、石川○小松島市○岩本○美馬市○村上、黒岩○勝浦町○宮浦○神山町○香川、高田○香川県○吉村、六車○大阪府○原○東京都○本田○愛媛県○柏木

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。中には、リサイクルショップで買取対象となる品物を当会に寄附して下さる方もおられ、本当にありがたいことと思います。頂いた品物は大切にリユース・リサイクルし、障害者の自立支援、ボランティア育成、他団体への支援などの活動につなげています。

また、吉田様を初め、いつも旬の農作物を無償で持って来て下さる皆様にも、この場を借りてお礼申し上げます。



戦艦ミズーリ
旧アメリカ海軍の戦艦ミズーリです。太平洋戦争でいろんな海戦で戦後はミサイル戦艦にかいぞうされました。今はたいえきしてアメリカの記念はく物かんになっています。

文・イラスト 藤田さん

編集後記～資源変換装置～

太陽と緑の会には1日に150人以上の市民の方が来られます。品物を持って来て下さる方、リユース品を買い求めに来られる方、など様々です。「家庭でいらなくなった品物でまだ使えるものを活用してほしい」という願いと「安くていいもの、掘り出し物を見つけない」という思いが、ここで結ばれます。

ここを利用される市民の皆様の中で、ここが障害者の働く場所、自立支援の場所であることをご存じの方は少ないです。逆に障害者福祉に関心のない方でも利用して頂けることが、太陽と緑の会の活動の広がりにつながっています。

創設25周年を迎える、地域活動支援センター「太陽と緑の会リサイクル作業所」には、身体障害、知的障害、精神障害を持つ、20才から59才の男性、女性、合わせて15名の方が、自宅、生活棟などから、徒歩、自転車、交通機関（JR、バス）等の手段を使って、通ってきています。

ここでは作業所の利用者の方を「メンバー」と呼んでいます。メンバーさんの働き方は一人一人違います。1日2時間、

週3日の人もいれば、1日8時間、週6日の人もいます。作業内容も値札の印字、値札付け、ウエス切り、商品の洗浄・磨き、包装といったバックヤードの仕事や、品物の運搬、資源ごみの選別・積込といった力仕事、品物のお持ち込みへの対応や売場の案内などの接客の他、売場・トイレ・建物周囲の清掃もあり、バラエティに富んでいます。レジや電話番を担当しているメンバーさんもいます。ここでトレーニングを積んで一般就労への挑戦を考えている人もいます。

給料は時給制をとっており、作業内容によって時給100円から620円まで幅があり、全員参加のミーティングによって決定するシステムをとっています。月額では1万円から9万円くらいになり、それに障害者基礎年金を合わせることで、経済的に自立した生活を送っている方もいます。

市民の皆様が、太陽と緑の会で買い物をしたり、太陽と緑の会にリユース可能な品物を提供して下さることが、障害者の方の自立に役立っているのです。

ありがたいことです。（文責 小山）

特定非営利活動法人 太陽と緑の会

私たちは生態系のリサイクルを含めたリサイクル・リユース活動を、様々なハンディを持ったメンバー達の地域活動支援センター・地域共同作業所とリンクさせて、行っております。地域の中で「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしにかかわらず「地域の中でその人がその人の足で立っていること」を目指し、様々な方々（市民、ボランティア、行政）の支えを頂きながら年間300日、土、日、祭日を含めた、日常活動を行っています。

発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島県徳島市国府町南岩延107-1
TEL・FAX 088-643-1054（事務局）
TEL・FAX 088-642-1054

（不用品リユース・地域活動支援センター）

URL <http://www2.ocn.ne.jp/~t-midori/index.htm>

E-MAIL t-midori@jeans.ocn.ne.jp

代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎

編集サポート 岡田 郁子

年会費：正会員1万円 準会員1,000円

郵便振替口座：01620-8-44703

※この機関誌は再生紙を使用しています。